

グリーンプラン・パートナーシップ事業(1号事業) 概要説明

1. 事業概要					
実施主体	学校法人 中部大学		実施場所	愛知県春日井市松本町1200番地	
共同実施者	-		推薦者	春日井市	
2. 事業内容					
事業名称	スマートグリッドによるエコキャンパス・地域低炭素化事業				
導入設備	太陽光発電設備(75kW)、蓄電池設備(90kWh、出力30kW)、高効率照明(LED206台、出力計44kW)、高効率空調(室外機121台、冷房能力計4.5MW)				
26年度補助金交付希望額	平成26年度101,512千円(設備導入)	実施予定期間	平成26~28年度	事業実施後のCO2削減効果(見込)	201t-CO2/年
事業内容	<p>事業の概要(赤枠内が補助対象)</p> <p>導入設備(赤枠内が補助対象)</p>				
3. 地域への普及方針等					
普及方針	キャンパス内を実証実験のフィールドとして教育研究機関たる中部大学が効果の分析・研究等を行い、市と中部大学とで設立するGPP事業連絡協議会(仮称)を通じ、技術導入に関する知見・データの蓄積を活かして地域への普及を行う。具体的には、エコツアー、エコセミナーの開催のほか、中部大学の学生がエコスタッフとして地域への普及の担い手となる仕組みづくりを進める。				
副次的効果	<ol style="list-style-type: none"> 防災拠点としての地域貢献 中部大学春日井キャンパスは地域の最大の防災拠点であり、本事業によりキャンパスと施設群の防災性を向上させ、地域防災へ貢献する。 教育施設ならではの地域活性化への貢献 教育研究機関として保有する設備、人材、技術、知を活かしたエコツアー、省エネ相談員等の地域連携事業により、地域の活性化に貢献する。 				